

難治性潰瘍にて形成外科での診療を受けられた方へ

当院では「難治性潰瘍に関する後ろ向き単施設研究」を行っております。この研究は皆様の当院での検査結果や治療効果などを長期的な視点で検証、検討することで、難治性潰瘍の臨床像の解明を目指すものです。今回の研究によって、難治性潰瘍をより正確に理解できるようになり、正しい診断や治療法の確立につながることを期待されます。この病気のために当院に通院された際の患者さんのデータを、今回の研究で使わせて頂けないかと思っております。対象となる患者さんは以下の通りです。

【研究課題】

難治性潰瘍における治療経過の後方視的観察研究

【研究期間】

実施期間：研究倫理委員会承認後 3年間 研究期間：2021年 5月～2024年4月の3年間

【対象となる方】

2000年1月1日以降、2021年年 5月31日までの間に千葉大学医学部附属病院形成美容外科に通院され、難治性潰瘍に対して治療を行った患者さん。

【研究の意義】

高齢化や、医療の高度化に伴い、治りにくい潰瘍の患者さんの数は増加傾向にあります。しかしながら、疾患は多岐にわたり、治療に関してはコンセンサスに乏しく、臨床的経験を基にしたものが多いのが現状です。今回、当院における難治性潰瘍に対して治療を行なった患者さんを対象とした臨床経過を調査研究することにより今後の難治性潰瘍における診療・治療の改善につなげることができればと考えます。

【研究の目的】

難治性潰瘍の患者さんの治療経過をまとめることにより、今後の難治性潰瘍の患者さんに有効な治療方針を検討することを目的としています。

【研究の方法】

この研究は千葉大学医学部倫理委員会の承認を受けて実施するものです。この研究は、過去に千葉大学医学部附属病院形成美容外科にて難治性潰瘍で通院された患者さんがこれまでに当院で受けてこられた検査などのデータを収集して、この病気の臨床像を明らかにすることを目的としています。具体的には診断名、身長、体重、嗜好歴、既往歴、家族歴、性別、年齢、手術記録、血液検査、画像検査、採取した組織の検査結果、使用薬剤、治療経

過、入院期間、治癒までの期間、最終的な治療の結果などが該当します。本研究の対象として、治りにくい傷の治療全体をよく分析して、よりよい診療の確立に取り組むため、未成年の患者さんの治療記録も、成人の患者さんと同じように調査します。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの情報・データ等は、千葉大学医学部附属部にて解析・保存されます。当研究室においては、担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンおよび鍵のかかる保管庫で厳重に保管します。

この研究のために自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで御連絡ください。ご連絡をいただかなかつた場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後 5 年間保存されます。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

本研究に関して、開示すべき利益 相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はございません。

【問い合わせ等の連絡先】

千葉大学医学部附属病院・形成・美容外科 住所: 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

電話: 043-222-7171(内線 73043)

診療科名・・・形成美容外科

研究責任者名 講師 秋田新介

診療科責任者名 教授 三川信之